



キャリア教育の町
“棚倉”の挑戦

資質・能力を追う キャリア教育



棚倉町教育委員会
棚倉町立棚倉小学校【著】

文部科学省教科調査官／国立教育政策研究所総括研究官
長田徹【監修】



棚倉町のキャリア教育

棚倉町長 湯座一平

棚倉町は、福島、栃木、茨城の3県に跨る八溝山のふもとに位置し、東に阿武隈高地、西に八溝山系を望み、久慈川の清流と豊かな自然に恵まれた町です。また、古くから東白川地方の中心地として、江戸時代には丹羽長重が築いた棚倉城を中心に棚倉藩の城下町として栄えた歴史と文化の町であります。



新緑の棚倉城跡

本町では、平成25年度からキャリア教育に取り組んで参りました。平成26年度は、第1回のチャレキッズ(小学生の職業体験活動)を実施し、現在まで続

いております。平成27年度には、キャ

リア・パスポートが始まり、平成28年度からは、キャリア教育シンポジウムが開催され、平成29年度には、本町教育委員会が

「キャリア教育の充実発展に尽力し顕著な功績」を挙げたことについて文部科学大臣より表彰されました。令和元年度から、棚倉小学校で四半期制による資質・能力の育成が開始され、令和4年度に本書の刊行に至りました。

私たちの目指す児童の姿を、地元夕刊紙に掲載された子どもの作文から紹介します。

ぼくの新年の抱負は、発表をたくさんすることです。そのためにがんばることは、自信をもって、何度失敗しても発表することです。今は、一日に一回くらいしか発表できていないけれど、六年生になったら一日に三回以上発表できるようになります。自分の考えを相手に分かりやすく伝えることを通して、大人になって社会に出たときに役立つ力を身に付けたいと思います。

(「夕刊たなぐら」令和5年1月7日掲載 棚倉小5年)

このように、今の学びを将来につなぐ姿を追い求めています。そして、指示をされ大人の思うままに行動するのではなく、自分で決めて自分のよさを発揮した経験(キャリア)を積み重ねていくことが大切です。私たちは、キャリア教育を通して、持続可能な地域社会の創り手を育成していきたいと考えています。

棚倉町では、さらにキャリア教育を推進し、「学ばせたい学校、学びたい学校」を目指し、「町づくり=学校づくり」を進めていきます。本書を一つの契機として、子どもたちのために、持続可能な地域社会のために、キャリア教育を基盤として学校教育及び社会教育を充実させていきたいと思ひます。

結びに、本書を刊行するにあたりお世話になりました、筑波大学の藤田晃之先生、文部科学省の長田徹先生はじめ関わってくださった多くの方々に心から感謝を申し上げます。



秋の山本不動尊

本書の趣旨

この本は、棚倉町教育委員会による2013年から2022年までの10年間のキャリア教育の取組と棚倉町立棚倉小学校の5年間の実践を、教育委員会、学校それぞれの視点で作成し、教育長の責任でまとめたものです。また、教育委員会の取組では、町内の他の学校の実践も紹介しております。

キャリア教育の実践書としては、長田徹監修 世田谷区立尾山台小学校著『小学校だからこそ！キャリア教育！』（2019年、実業之日本社、以下「尾山台本」という優れた著作があります。キャリア教育の基本的な実践内容は、この書に述べられており、本実践もそれを十分に踏まえ、自校化・地域化して継承しております。

本書は、尾山台小学校の実践を、資質・能力の育成という視点から、「キャリア・パスポートによるガイダンスとカウンセリング」「教育委員会による校種間をつないだキャリア教育」等について、方法的側面から発展させたものです。

学習指導要領では、資質・能力の育成が規定されています。資質・能力の育成が強調されているにもかかわらず、教育課程の編成・実施・評価・改善に大きな変化は見られず、従前通りの教育課程において、資質・能力の育成とは名ばかりの実践が行われてはいないでしょうか。資質・能力の育成には、カリキュラム・マネジメントは不可欠ですし、重点化・具体化・意識化・共有化が必要です。

本町のような規模の自治体で、資質・能力の育成は、学校任せではいけないのです。幼児・児童・生徒の学びを過去から現在、未来へとつなぐ道筋の中で、各学校の自主性を尊重しつつ、教育行政が主導し行うべきであると考えています。棚倉小学校は、その期待に見事に応えてくれました。



本町の教育実践につきましては、
「棚倉町教育ポータルサイト(<https://tanagura.fcs.ed.jp/>)」をご覧ください。
また、文部科学省の下記の資料も合わせてご参照いただくと幸いです。

教育委員会月報 令和4年3月号 掲載
Series 地方発！我が教育委員会の取組 福島県棚倉町教育委員会 町ぐるみのキャリア教育の推進 ～体験・評価・保幼小中高の連携を通して～
https://www.mext.go.jp/content/2022325-mxt_syoto01-000021525_5.pdf

キャリア・パスポート特別編8「キャリア・パスポートを「小小連携」「保幼小中高連携」につなぐ～棚倉町・棚倉小・社川小・棚倉中の「キャリア・パスポート」より～」PDF(令和4年3月発行)
https://www.nier.go.jp/04_kenkyu_annai/pdf/div09-shido_220325-02.pdf

・小学生キャリア教育の手引き(2022年3月)

・https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/career/detail/mext_01951.html



「資質・能力を追うキャリア教育」 目次

はじめに 2

棚倉町のキャリア教育	2
本書の趣旨	3
棚倉町でキャリア教育を推進する先生方に向けて	6
資質・能力を育成するために工夫していること	10

第1章 キャリア教育は難しくない【棚倉町教育委員会1】 11

育てたい「資質・能力=基礎的・汎用的能力」の設定	12
育てたい資質・能力は子どもに意識させる	15
キャリア教育の断片は埋もれている	18
資質・能力で校種間をつなぐ	21
自分で決める教育（自己マネジメント力の育成）	25
対話による肯定感と有用感の育成	29
課題解決型の体験活動の設定	31
肯定的な関わりによる自己構成	33
解説（長田徹）	36

第2章 「ほめポイント」の提案【棚倉小学校1】 39

「ほめポイント」と「見える化」「共有化」「意識化」「強化」	40
ほめポイントの「見える化」	43
ほめポイントの「共有化」	45
ほめポイントの「意識化」	49
ほめポイントの「強化」	56
解説（長田徹）	59

第3章 「四半期制」の提案【棚倉小学校2】 61

四半期ごとの資質・能力の設定	62
四半期ごとの資質・能力の育成	67
四半期ごとのマネジメントサイクル	71
第1学年の実践	75
第2学年の実践	77
第3学年の実践	79
第4学年の実践	80
第5学年の実践	82
第6学年の実践	84
特別支援学級の実践	86
解説（長田徹）	88

第4章 資質・能力を育成するカリキュラム・マネジメント【棚倉町教育委員会2】 91

カリキュラム・マネジメントで資質・能力を育成	92
資質・能力を育成する教育課程とは	96
資質・能力の評価（キャリア教育意識調査）	98
個人評価シートの作成と活用	103
地域の教育資源（人的・物的）の活用	108
チャレキッズ（小学生の職業体験）の実施	111
解説（長田徹）	114

第5章

キャリア・パスポートの活用【棚倉小学校3】

117

キャリア・パスポートで子どもが変わる	118
キャリア・パスポートはみんなをつなぐ	122
学年間の活用	127
就学支援シートと自分発見シートの作成と活用	132
キャリア・パスポートで実践をつなぐ	135
解説（長田徹）	143

第6章

教育委員会が校種間をつなぐ【棚倉町教育委員会3】

145

校種をつないだ資質・能力の育成	146
学校づくりから町づくりへ	151
町ぐるみで資質・能力育成	154
幼稚園におけるキャリア教育	157
小学校におけるキャリア教育	159
中学校におけるキャリア教育	163
高等学校へ学びをつなぐ	167
解説（長田徹）	168

第7章

対話で伸ばす資質・能力【棚倉小学校4】

171

自己マネジメント力の育成（学びの習慣づくり）	172
学びの習慣づくりの要として	175
対話的な関わりが意欲を高め、資質・能力を伸ばす	178
教科に広げるキャリア教育	182
算数科、外国語科に広げるキャリア教育	185
キャリア教育と特別支援教育	191
キャリア教育を支えてくれる先生方のメッセージ	195
これからも大切にしていきたいこと	196

第8章

これからのキャリア教育【棚倉町教育委員会4】

197

これからのキャリア教育を考える	198
砂遊びの可能性	200
立志教育の推進（夢をつなぎ志を育む）	204
ICTとキャリア教育	206
課題解決型の体験活動	208
小学校におけるセカンドスクール	212
キャリア・カウンセリングの手法を生かして	214
特別支援教育におけるキャリア教育	217
棚倉町キャリア教育の波及効果（教員養成・サイエンス教室）	221
進化する「キャリア教育の町たなぐら」	225

特別企画

キャリア教育で子どもも教員も地域も変わる【キャリア教育鼎談】

227